

と三、第一編は上古、婦女文學第二編は兩漢、魏晉南北朝、唐五代を網羅し、第三編は宋遼と元明を収む。(定價 一元四角、中華書局發行) (以上那波)

●Herbert B. Workman: the Evolution of the Monastic Ideal (Londn, 1917)

本書は遁世思想の發達を説きて初期基督教の時代より托鉢僧團成立期に及べるものなり。著者は先づモナスチズムの思想が初期基督教界に發生し來る外的並に內的因由を説き、其一般的特質を擧げ、ベネザクト派以前の原始的時代に於ける僧院制度より漸次この思想主義が發展し行ける過程を討ね、聖ベネザクト及聖フランシスの出現を二個の中心點とする該期間の推移を述べて托鉢僧團の性質に及び、最後に遁世主義の使命を論じて編を結べり。即ち本書は専らモナスチズムの興隆期を取扱へるものにして、この方面の研究に對して造詣頗る深き著者が、この種の著述に往々免れ難き哲學的思索に耽せずして飽遠史的考察の態度を失はず着實なる勞作を公にしたるは多とすべきものなるべし。其所論中には間々首肯し難き點あるべく、殊に第一章の總括的論說に對しては異論叢からざるべしと雖も、兎に角從來公刊せられたる思想上よりせる僧院研究の述作中に於ては嶄然頭角を抜けるものならん。

●Carlton J. Hayes: A Political and Social History of Modern Europe. (2vols, New York, 1916)

本書はロマンヤ Hayes 氏が彼地に於けるカンツチ教科用として纂したるものにして、第一卷は一五〇〇—一八一五年第二卷は一八一五—一九一五年の時期を取扱ひ居れり。著者は其目的に適ふやうに近代四世紀間に於ける歐洲の政治及社會的發展の經路を極めて手際よく編述し居り、殊に最近世の部分に力を注ぎ其分量も全篇の半ばを占め居り、出來榮えも亦他の部分よりも優り居るが如し。第一卷中に纏められたる前代三世紀間の記事はこれに對比して確に遜色あるべく、間々精到を欠ける箇所聽しとせず。而も大体に於て巧妙なる其編述方法は篇中挿入の參考地圖各章末に附せる參考書目及精密なる索引と相俟つて歐洲近世史學修者の良好なる參考書として推奨すべきものなり。(以上植村)

●海峽殖民地概覽 外務省通商局編

海峽殖民地(馬來聯邦を含む)につきて、其政治、人種、人口、産業、宗教、交通等を述べたり、統計的の處多けれども此地方のことと記したる邦文のものとしては、唯一の參考書たるべし、就中人種宗教、經濟等の記事最も見るべし。(價二、八〇 啓成社發行)

⑦近世殖民史。

グアレンチン著 拓殖局編輯

一九一五年末の序文ある新版の殖民史なり。原著者はフライブルヒ大學の助教授なり。大體地理的發見時代に筆を起し、各當時の有力なる殖民帝國を代表として時代別を試み、即緒論の次に葡人、閩人、佛人、英人の順に記述し、特に英人は北米、加奈陀、印度、暹羅、南阿等に分ちて詳述し、一八七六年以後は英國の獨占を許さざる時代即新進諸國競爭の時代として之を遊星時代とし

こゝに北米合衆國、自伊諸小國の殖民を記し、最後に獨逸の殖民を述べたり。原書は行文簡潔流暢、近世殖民史として最要を得たり。只戰爭中に出でたる爲か、動もすれば筆を曲げて帝國に當り稍公正なる客觀的見地を離れたる嫌なきにあらず、其卷末に於て青島の發達を自誇自讃し「我が國民性の偉大、強健にして卓越せる途に世界の國民たるべき我等が天職は、此の地に於て成功したり」「今や獨逸は新支那の教師たり、導者たるの役に任じたり」と云ふあたりはよく獨逸思想の彷彿たるを認めしむ。(價一、八〇帝國地方行政學會發行)

⑧朝鮮地誌資料。

朝鮮の臨時土地調査局にて全道の土地調査を行ひたる結果を縮成したるものなり、大勢、行政區域、河川、山岳、海岸線、島嶼經濟等の各項に分ち、其廣袤、延長、高度、周圍、又は物價等を

最初の測定又は計量によりて數量的に記述し、別に多くの斷面圖地圖、ダイアグラム等を添へたり。朝鮮地誌の數量的記述として最新且最正確なる材料を提供したるものなり。(非賣品、朝鮮總督府出版)

⑨In the Wilds of South

America, Millar. (New York 1918)

著者は米國博物館員にて、一九一二年哥倫比亞を振り出しに、一九一六年まで、南米各地に野生動物採集旅行をなせし時の紀行文が即本書なり。其行程十五萬哩に亘り、アンデス、カリノコ、アマゾン、パラガイ河、バムバスの各地を跋渉し、其地の見聞談、採集談を面白く書き下し、讀者をして識らず知らずの間に南米の自然に接するの思あらしむ。蓋し輕妙なる紀行文と云ふべし

⑩Pacific Ports. (Frank Watohms

and Co. Seattle 1918)

航海業者の爲に太平洋沿岸諸國の貿易、輸出入關稅、噸稅、海上保險、運賃、運輸業者、主要諸港の事情、天氣信號等を記したるものにて、頗る便利なる一種の案内記なり。(以上下田)

⑪京畿府史蹟勝地調査報告 第一冊

京都市にては先年來史蹟勝地調査會を起し、管内の史蹟及名勝地の調査、表彰及び其保存を圖りたりしが、今回其事業の一とし